



～冬の湖山池～

青島から見た湖山池です。雨の多い天候が続きましたが、この日だけはよく晴れました。

(2016.12/25, EOS7D+EFs10-18mmF4.5-5.6STM で撮影)

撮影者：三須 幸一郎 (知財部門長)

【鳥取地区】

相談員：下田 一弘 弁理士
(機能性材料・バイオ・太陽電池関係他)
日 時：2月8日(水) 13:30より
場 所：産学・地域連携推進機構 2階 会議室

【米子地区】

相談員：富田 憲史 弁理士
(医獣・バイオ関係他)
日 時：2月9日(木) 13:30より
場 所：総合研究棟 3階 セミナー室

【目 次】

2月の特許相談会	1
「鳥取大学特許集 2017」発行に向けて準備中です	2-3
特許出願前の学内手続きの流れについて	4
特許相談会・発明審査委員会の件数	

発行に向けて
準備中です！

鳥取大学特許集2017



現在、「鳥取大学特許集 2017」の発行に向けて準備中です。掲載案件 44 シーズの中から、「医療・健康」分野に新しく医学部・長田佳子特任准教授の案件と、農学部・上中弘典准教授の案件 2 件を掲載します。今回は、新規案件 2 件について紹介します。

特許集 1 ページ目に掲載

甲状腺刺激ホルモンレセプター抗体 (TRAb) アイソタイプ測定を用いたバセドウ病の病態診断キットの開発

- ❖ 活 用 ポ イ ン ト : バセドウ病の病態を迅速かつ安価に評価することができる診断キットの開発が可能。
- ❖ 技 術 概 要 : 本発明により、女性の年間発病率が高く、甲状腺機能亢進症の 9 割を占める疾患であるバセドウ病の病態を評価することが可能となり、多くの患者の診療に役立つ。
- ❖ 従 来 の 問 題 点 : バセドウ病の経過中、急激な機能低下がおこることがあり、この原因を把握するために、検査に数か月を要していた。
- ❖ 解決したポイント : TSHレセプター抗体 (TRAb) のアイソタイプ (TRAb-IgGとTRAb-IgM) のバランスを測定することにより、病態を把握することが可能となった。

ライセンス情報

- 出 願 番 号 : 特願 2016-087002
- 出 願 日 : 2016 年 4 月 25 日
- 発 明 の 名 称 : 甲状腺刺激ホルモンレセプター抗体アイソタイプ測定を用いたバセドウ病の病態診断キット及びバセドウ病の病態の診断方法
- 代 表 発 明 者 : 長田佳子 (医学部・特任准教授)

発明者からのメッセージ



バセドウ病に関心のある企業、抗体による測定等の技術を有している企業との共同研究を望んでいます。

ラン科植物の発芽と共生を促進する技術

- ❖ 活 用 ポ イ ン ト : 市販されている農薬を用いることで、ランの発芽と成長に関わる共生の両方を促進可能。
- ❖ 技 術 概 要 : ①植物ホルモンであるジベレリンの阻害剤の処理により、共生菌が存在しない状態での発芽、および自然環境下ではラン科植物の発芽と成長に不可欠な共生菌との共生の両方を促進可能。
②発芽が困難な希少ランを含む、様々なランで本技術を利用可能。
- ❖ 従 来 の 問 題 点 : ラン科植物の中には人工発芽・栽培するのが困難な植物種の種子からの栽培には、段ボール播種法や共生菌を含むコンポストの利用等があるが、作用機構が不明であり、適用できる植物種が限られているため、広く利用されるまでには至っていない。
- ❖ 解決したポイント : ①ジベレリンの阻害剤を用いることで、ラン科植物の発芽と共生の両方を同時に促進可能で、かつラン科植物に広く適用できる。
②ジベレリンの阻害剤は農薬として市販されているため、安全性が検証済みであり、かつ安価に利用できる。

ライセンス情報

- 出 願 番 号 : 特願 2015-196787
- 出 願 日 : 2015 年 10 月 2 日
- 発 明 の 名 称 : ラン科植物の発芽と共生を促進する技術
- 代 表 発 明 者 : 上中弘典 (農学部・准教授)

発明者からのメッセージ

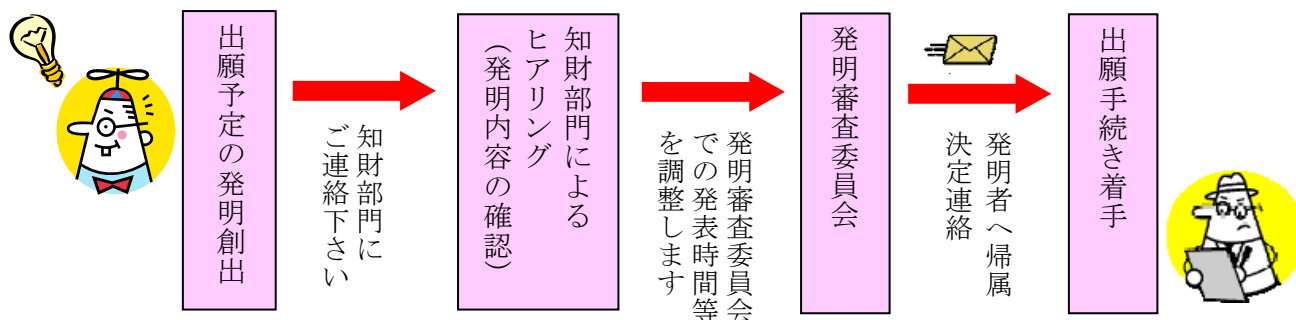


効果の裏付けとなる十分な基礎研究成果がある本技術は、既存の農薬の新規用途開発や新たなラン用の培養土の開発だけでなく、新産業の創出を目指した希少なランの人工培養技術の確立にも利用が期待できます。

特許出願前の学内手続きの流れについて

特許出願を行う前には、本学の発明審査委員会にて、帰属決定の審議を行う必要があります。発明審査委員会で提案する発明案件については、事前に知財部門教員がヒアリングを行いますので、出願を行う予定がある案件については、まず知財部門までご連絡をお願いします。

出願時期が決まっている案件については、2～3ヶ月前から知財部門へご相談されることをお勧めします。



《2月発明審査委員会開催日》

日 時：2月24日（金）13：00 開始
場 所：（鳥取地区）VBL 棟1階 セミナー室
（米子地区）第二中央診療棟3階 病院 TV 会議室（TV 会議）

1月の件数

知財部門による特許相談件数 11件
定例特許相談会の件数
下田一弘 弁理士(機能性材料関係他) 3件
富田憲史 弁理士(医獣・バイオ関係他) 3件
発明審査委員会の件数 7件

*** 編集後記 ***

雪は降っても、年々あまり積もらないと思っていましたが、1月の大雪にはとてもびっくりしました。スキー場にとっては恵みの雪となりましたが、交通機関に支障が出てとても大変でした。2月の天候はどうなるのでしょうか。

*** 特許等の相談 ***

相談員：三須 幸一郎（部門長・教授）TEL：0857-31-6000(直通)
（又は内線 2765）
山岸 大輔（副部門長・准教授）TEL：0859-38-6496(直通)
（又は内線 14-6496）
場 所：産学・地域連携推進機構 2F 知的財産管理運用部門
E-mail アドレス：chizai@mladm.tottori-u.ac.jp
FAX 専用：0857-31-5474（又は内線 2771）
産学・地域連携推進機構 HP：<http://www.cjrd.tottori-u.ac.jp/>

*** 刊行物 ***
知財部門ニュース
み・ん・なのニュース 2月号
<119号>（通番 148号）
2017年2月1日発行
編集・著作：
知的財産管理運用部門
発行：鳥取大学
産学・地域連携推進機構